

2012.09

J Aバンク福井県信連

R e p o r t



福井県信用農業協同組合連合会

目 次

1. 地域貢献に関する取り組み・・・・・・・・・・ 1
2. 主要勘定の状況・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 損益の状況・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 単体自己資本比率・・・・・・・・・・・・・・ 2
5. 不良債権の状況（単体）・・・・・・・・・・ 3
6. 有価証券時価情報・・・・・・・・・・・・・・ 5

表紙の写真

丸岡城（坂井市）

福井県坂井市丸岡町にある平山城であり、別名霞ヶ城です。安土桃山時代に建造されたと推定される天守は現存するものとしては最古級であり、国の重要文化財に指定されています。

また、日本のさくら名所100選に認定されており、春には多くの観光客が訪れます。4月には丸岡城さくら祭りが行われています。

当会は、福井県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のＪＡにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では、資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、ＪＡ・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

当会は、協同組合の相互扶助の精神を大切にし、以下のような地域貢献活動を実施しております。

1. 文化的・社会的貢献活動

(1) 農業に対する地域の理解と振興、農業ファン作りを目的とした「ＪＡバンクアグリサポート事業」を展開しています。

(2) 「食の安全・安心」「地域」に対する消費者・世間一般の関心の高まりをビジネスチャンスと捉え、農業生産業者等の販売力強化のニーズにこたえていくため、地域や系統独自色を発揮した「ＪＡ・ＪＦグループ北陸商談会」を開催いたしました。

また、北陸・中部地区を含む規模で行われた、ビジネスマッチングの場である「ＦＩＴネット商談会」にも参加しました。

(3) 東日本大震災の被災地のＪＡバンク利用者であれば、県下ＪＡバンクの店舗でも一定の範囲で貯金の払い戻しを可能とする「災害等緊急時払出取扱事務」を制定するとともに、「災害義援金取扱要領」に基づき、義援金にかかる振込手数料無料化の対応を行っております。

2. 各種相談会の開催

年金相談会、住宅ローン相談会、税務相談会などを開催し、地域の皆さまの相談にお答えし、また、お役に立つ情報をお伝えしております。

3. 環境配慮活動

(1) 地球温暖化ストップ県民活動「ＬＯＶＥ・アースふくい」の趣旨に賛同し、クールビズ・休み時間の消灯等身近なところからの取り組みを実施しております。

主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成24年3月末	平成23年9月末
貯金	601,044	597,178	603,827
貸出金	72,584	64,485	57,061
預け金	333,408	332,925	352,786
有価証券	212,711	217,218	204,056

注 貯金には譲渡性貯金が含まれています。

損益の状況

(単位：百万円)

	平成24年度半期	平成23年度半期	平成23年度
経常利益	1,709	1,326	1,851
当期剰余金	1,374	952	1,265

単体自己資本比率

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成24年3月末	平成23年9月末
基本的項目	41,115	39,741	40,412
補完的項目	4,897	4,830	1,295
控除項目	24	64	311
自己資本額	45,989	44,506	41,396
資産(ホ・バ`ランス項目)	216,180	205,333	199,848
ホ・バ`ランス取引等項目	382	380	888
ホ`リスク相当額÷8%	7,100	7,100	6,574
リスク・アセット計	223,664	212,815	207,311
T i r e 1 比率	18.38%	18.67%	19.49%
自己資本比率	20.56%	20.91%	19.96%

(注)

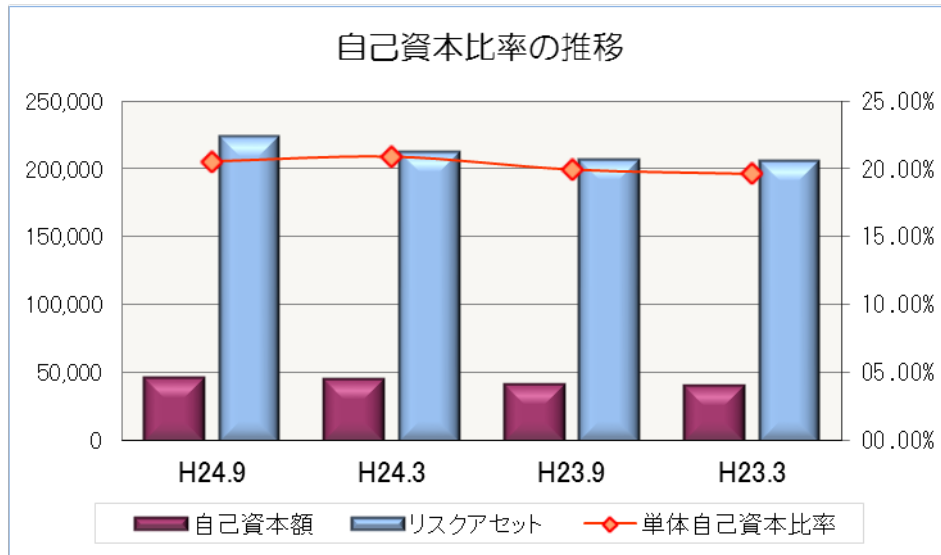
1 金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準に基づき算出

しております。なお、当会は国内基準を採用しています。

- 2 当会は、信用リスク・アセット額の算出にあたっては標準的手法、適格金融資産担保の適用については信用リスク削減手法の簡便法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出にあたっては基礎的手法を採用しています。

基礎的手法とは、1年間の粗利益に0.15を乗じた額の直近3年間の平均値によりオペレーショナル・リスク相当額を算出する方法です。なお、1年間の粗利益は、経常利益から国債等債権売却益・償還益及びその他経常収益を控除し、役務取引等費用、国債等債権売却損・償還損・償却、経費、その他経常費用及び金銭の信託運用見合い費用を加算して算出しています。

- 3 9月末基準での自己資本額には、外部流出予定額は控除しておりません。またオペレーショナル・リスク相当額については、中間決算を行っていないため前年度末の計数を使用しております。



不良債権の状況(単体)

(1) リスク管理債権

(単位：百万円)

区 分	平成24年9月末	平成24年3月末	増 減
破綻先債権	1,135	1,022	113
延滞債権	411	552	△ 141
3カ月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
合 計	1,547	1,575	△ 28

(注)

1. 破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金)をいいます。

2. 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

3. 3カ月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものをいいます。

4. 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

(2) 金融再生法開示債権

(単位：百万円)

債権区分	平成24年9月末	平成24年3月末	増減
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	1,505	1,393	111
危険債権	42	182	△ 139
要管理債権	-	-	-
小計	1,547	1,575	△ 28
正常債権	71,623	63,494	8,129
合計	73,171	65,070	8,101

(注)

上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

② 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

③ 要管理債権

3カ月以上延滞債権で上記①及び②に該当しないもの及び貸出条件緩和債権をいいます。

④ 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

有 価 証 券 時 価 情 報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	平成24年9月末			平成24年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有	19,299	19,508	208	21,099	21,359	259
そ の 他	192,320	193,411	1,091	194,025	196,118	2,093
合 計	211,620	212,920	1,299	215,124	217,477	2,352

注 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価格は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。



JAバンク福井県信連